

認知症サポーター養成講座 標準テキスト(名古屋市版)



名古屋市

目次

1 はじめに

I 認知症は“ひとつごと”ではありません

- 1 はじめに P1
- 2 認知症は身近な病気です P3

II “認知症”と“認知症の人”を正しく理解する

- 1 加齢によるもの忘れと認知症によるもの忘れの違い P5
- 2 認知症を引き起こすおもな病気 P6
- 3 認知症の初期症状とは P7
- 4 認知症の診断・治療 P8
- 5 認知症の予防 P9
- 6 認知症の症状 ～中核症状と行動・心理症状～ P10
 - 【中核症状】 P11
 - ・記憶障害 ・見当識障害 ・理解力・判断力の障害 ・実行機能障害
 - 【行動・心理症状】 P15
 - ・もの盗られ妄想 ・抑うつ・不安 ・ひとり歩き(徘徊)
- 7 介護をしている家族の気持ち P19
- 8 認知症の人と接するときの心がまえ P21

III 「認知症の人にやさしいまちづくり」 ～認知症サポーターにできること～

- 1 「認知症になっても安心して暮らせるまち なごや」を目指して P23
- 2 認知症に関する相談先と認知症関連事業の紹介 P29

■ “ひとつごと”

認知症は誰にももの、あるいは私のです。

■ 誤解や偏見

「認知症になるの人に迷惑をかけると思っている人は偏見によって、本れることで特別扱い込むことで、社

■ まずは正し

まずは、“認知で正しく理解をしではなく、認知症り添い、言動の背気持ちを理解する 認知症を正しくとで、認知症に会になります。

※本テキストでは、「徘徊」を「ひとり歩き」と表記しています。

I 認知症は“ひとつ” ではありません

私たちが認知症になっても安心して暮らし続けるために、
今、何をしたら良いのでしょうか？

ではありません

起こりうる脳の病気です。私
家族や身近な人の現実の問題

があります

と何もわからなくなる」「周り
るので自宅では生活できない」
多くいます。そうした誤解や
人や家族が「認知症だと知ら
いされるのではないか」と思
会から孤立することがあります。

＜理解をすることから

症”と“認知症の人”につい
ましよう。認知症の状態だけ
の人が体験している世界に寄
後にあるその人なりの理由や
ことが大切です。

理解をする人の輪が広がるこ
なっても安心して暮らせる社

名古屋市では、「認知症になっても安心して暮らせる
まち なごや」を目指して、いきいき支援センター（地域
包括支援センター）に認知症初期集中支援チームや認知症
地域支援推進員を配置しています。また、家族への支援や
なごや認知症カフェの開設支援など、認知症の人やその家
族を支える仕組みを整備しています。

なかでも、認知症サポーター養成講座は「認知症サポ
ーターキャラバン事業」として、認知症を理解し、認知症の
人やその家族をあたたく見守る「認知症サポーター」を
一人でも増やし、安心して暮らせるまちをみんなでつくっ
ていくことを目的に、地域や学校、職場などで開催してい
ます。

毎月30回程度開催し、1,000人以上の認知症サポーター
が誕生しています。



認知症サポーターキャラバン マスコット「ロバ隊長」

2 認知症は身近な病気です

高齢化の進展とともに、認知症の人が増えています。2025年には全国で675万人、名古屋市でも11万2千人になると推計されています。これは65歳以上の5人に1人の割合です。

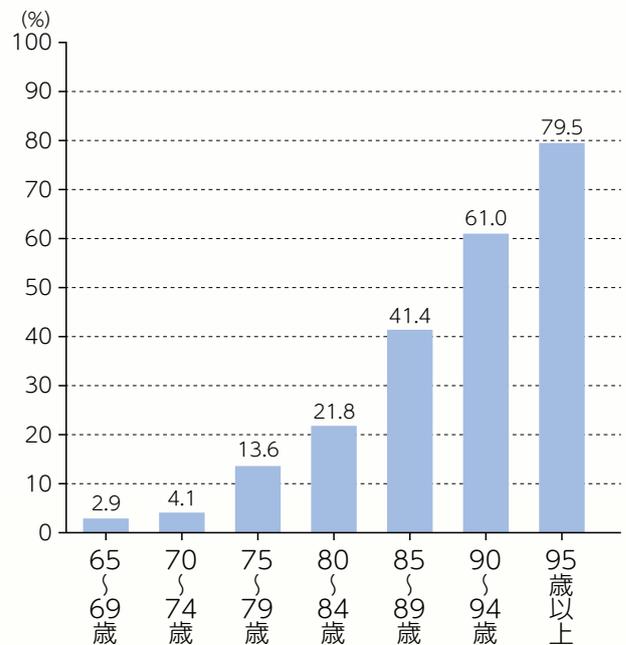
また、年齢別の割合は、85歳以上では約4割、95歳以上では約8割を占めます。

認知症高齢者数の将来推計



厚生労働科学研究「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(平成26年度)

年齢別の認知症有病率



厚生労働科学研究「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」(平成23年度～24年度)

認知症になっても自分らしくいきいきと暮らしている人がいます。また、認知症の人が自らの言葉で自身の体験を語り始めることも増えてきました。

できないことは様々な工夫や周りのサポートで補いつつ、できることを活かして自分らしく生きている姿は、認知症に対する社会の見方を変えるきっかけになっています。

認知症の人が語る言葉に耳を傾け、「認知症とともに生きる」とはどういうことなのか、考えてみましょう。

一方、認知症は高齢者だけの問題ではなく、65歳未満に発病する場合があります「若年性認知症」と呼ばれます。

若年性認知症の人は、働き盛りで、就業前の子どもがいる場合が多くあります。そのため、本人や家族が仕事を辞めてしまうと経済的困難に直面してしまいます。

また、高齢者の場合に比べ、家族や周りの人が病気を理解し受け入れるのに時間がかかることが多く、職場や地域の中で、若年性認知症の人やその家族に対する理解と支援が求められています。

名古屋市における若年性認知症の人への支援

名古屋市認知症相談支援センター（30ページ参照）では、若年性認知症相談支援事業として個別支援や本人・家族交流会などを行っています。

本人・家族交流会「あゆみの会」には、本人、家族、パートナー（ボランティア）が毎回45名程度参加しています。その場にいる誰とでも笑って話せる交流を通して、認知症とともに歩む力を身につけます。当事者による講演活動など社会的な活動も広がってきています。



講演活動を行う当事者（左）（大須演芸場にて）



ソフトボールを通じて当事者（左）と中学生が交流



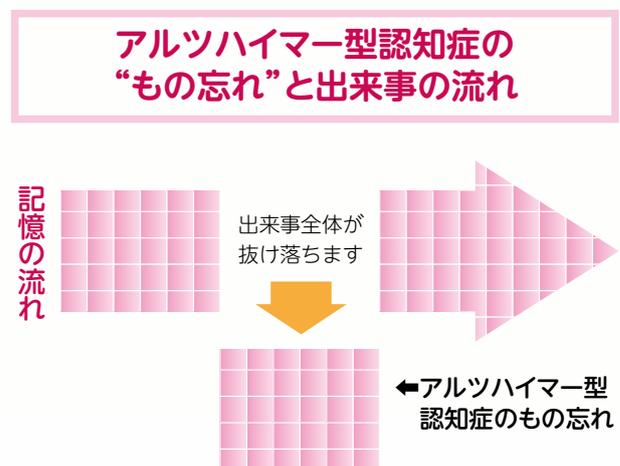
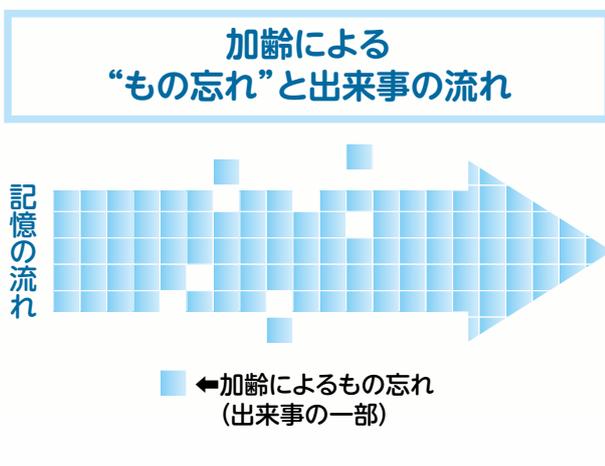
伊吹山山頂にて（あゆみの会バス旅行）

Ⅱ “認知症”と“認知症の人”を正しく理解する

1 加齢によるもの忘れと認知症によるもの忘れの違い

年をとれば誰でも、もの忘れが多くなります。しかし、認知症によるもの忘れは加齢によるものとは違い、記憶がまるごと抜けてしまうことが特徴です。

例えば、朝食を食べたとしても「朝食はまだか？」と聞くのは、食べたこと自体をまるごと忘れてしまう“記憶障害”が原因です。しかし、家族や周りの人は「朝食はまだか？」と何度も聞かれると、「さっき食べたばかりなのに何を言っているの！」と不可解に思います。こうした認識のズレが関係性の悪化を招き、行動・心理症状を引き起こす場合があります。



加齢による“もの忘れ”
体験の一部を忘れる
ヒントを与えられると思い出せる
時間や場所などは正しく認識
日常生活に支障はない

アルツハイマー型認知症の“もの忘れ”
体験全体を忘れる
新しい出来事を記憶できない
ヒントを与られても思い出せない
時間や場所などの認識が混乱
日常生活に支障がある

出典：「相談 e-65.net」

認知症本人の言葉から



「友人に『最近、もの忘れが増えて困っている。』と打ち明けると、『そう、そう、私も一緒よ。』と言ってくれた。だけど、普通のもの忘れと違うことがわかるから、そう言われると余計につらくて。

その後、紹介された“認知症カフェ”に参加し、他の認知症の人と話をした時、初めて自分の苦しみをわかってもらえたと感じて、フッと気持ちが楽になりました。」

2 認知症を引き起こすおもな病気

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が縮んだり、働きが悪くなるために「物事を記憶したり、判断する能力」や「時間、場所、人などを認知する能力」などが低下し、生活をする上で支障が出ている状態（およそ6か月以上継続している）を指します。

主な認知症の比較

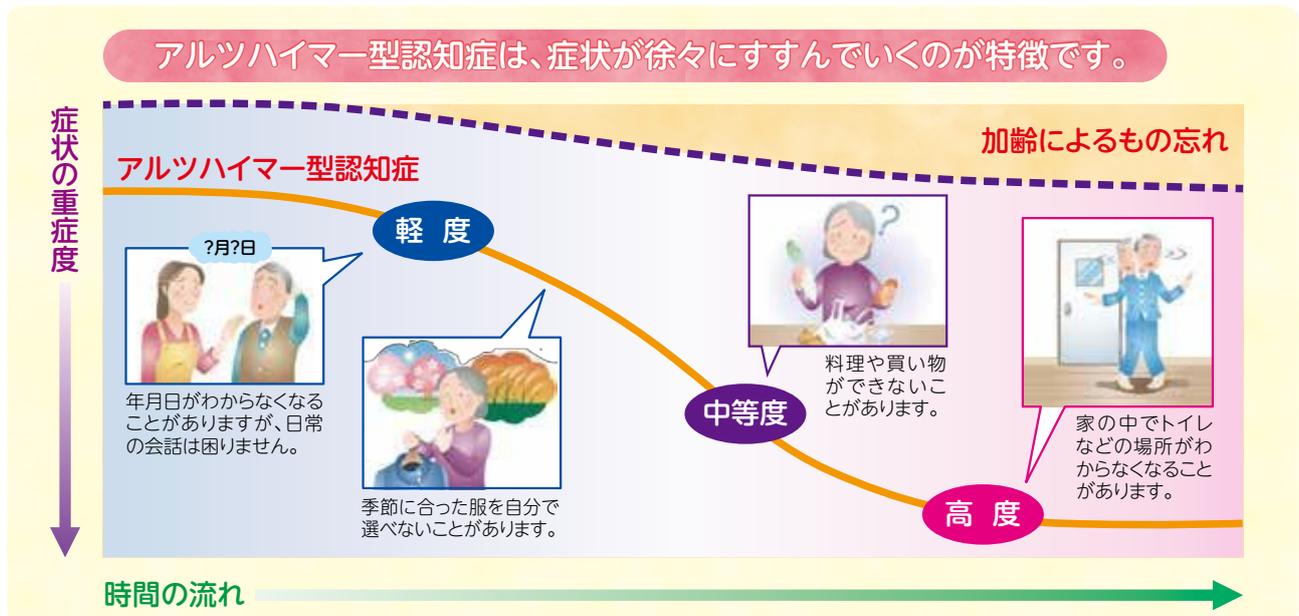
疾患	アルツハイマー型認知症	血管性認知症	レビー小体型認知症	前頭側頭型認知症
発症と経過	<ul style="list-style-type: none"> 緩やかに発症し徐々に進行する 	<ul style="list-style-type: none"> 突然発症し階段状に進行する場合と、緩やかに発症し徐々に進行する場合がある 	<ul style="list-style-type: none"> 緩やかに発症し進行する 	<ul style="list-style-type: none"> 初期から言語障害と行動障害が現れる場合がある
認知障害の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 認知機能全般的に障害がある 初期から記憶障害が現れる場合がある 	<ul style="list-style-type: none"> 記憶障害は比較的軽い 	<ul style="list-style-type: none"> 初期の記憶障害は目立たない 認知機能の変動が起こる場合がある 	<ul style="list-style-type: none"> エピソード記憶より意味記憶の障害が目立つ
運動障害	<ul style="list-style-type: none"> 重度になるまで現れない場合がある 	<ul style="list-style-type: none"> 片麻痺などにより、初期から手足の動きが悪い場合がある 	<ul style="list-style-type: none"> パーキンソン病様症状が現れる場合がある 転倒が増える 	<ul style="list-style-type: none"> 運動障害は目立たない
行動・心理症状の特徴	<ul style="list-style-type: none"> もの盗られ妄想 うつ状態 ひとり歩き(徘徊) 	<ul style="list-style-type: none"> 感情失禁 意欲低下 夜間せん妄 	<ul style="list-style-type: none"> 鮮明で反復出現する幻視 幻視に基づく妄想 	<ul style="list-style-type: none"> 人格の変化 脱抑制 常同行動 食行動の異常

- 「認知機能の変動」 日や時間帯で、はっきりした状態とボーっとした状態の波がある
- 「エピソード記憶の障害」 自分の体験したそのものを忘れてしまう障害
- 「意味記憶の障害」 ものや言葉の意味を忘れてしまう障害
- 「パーキンソン病様症状」 ふるえ、動作が緩慢、小刻み歩行など
- 「感情失禁」 激しい感情が引き起こされ、涙が止まらなくなるなどの症状
- 「せん妄」 軽度の意識障害で、急に異常行動が現れること
- 「脱抑制」 ルールを守る必要があることが分からなくなる
- 「常同行動」 毎日同じ時間に同じ道順で散歩するなど、同じ行動を繰り返すこと

認知症は脳の病気です。だから、早期に気づき、受診や相談をすることが大切です。

3 認知症の初期症状とは

認知症を引き起こす病気の多くは進行性です。しかし、早期発見・早期対応により、症状の進行を遅らせることができます。その始まりの症状を見逃さず、「認知症かな？」と気づくことが大切です。



出典：「相談 e-65.net」

認知症の初期に現れやすいサインを知りましょう。

① 同じことを言ったり聞いたりする <input type="checkbox"/>	⑧ 慣れた所で道に迷った <input type="checkbox"/>
② 物の名前が出てこなくなった <input type="checkbox"/>	⑨ 財布などを盗まれたという <input type="checkbox"/>
③ 置き忘れやしまい忘れが目立ってきた <input type="checkbox"/>	⑩ ささいなことで怒りっぽくなった <input type="checkbox"/>
④ 以前はあった関心や興味が失われた <input type="checkbox"/>	⑪ 蛇口・ガス栓の締め忘れ 火の用心ができなくなった <input type="checkbox"/>
⑤ だらしなくなった <input type="checkbox"/>	⑫ 複雑なテレビドラマが理解できない <input type="checkbox"/>
⑥ 日課をしなくなった <input type="checkbox"/>	⑬ 夜中に急に起きだして騒いだ <input type="checkbox"/>
⑦ 時間や場所の感覚が不確かになった <input type="checkbox"/>	

出典：愛知県・国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター発行「認知症チェックリスト」



認知症本人の言葉から

「失敗が増え始めたころは怖くて、家族にも打ち明けられなかったです。」

初期の認知症の場合、外見ではわからないし、会話をしても気づかないことが多いです。しかし、本人は異変を感じ不安を抱えています。

4 認知症の診断・治療

認知症の診断は初期ほどむずかしく、熟練した技術と高度な検査機器を要する検査が必要となります。専門医へ受診することが必要です。

CT、MRI、脳血流検査などの画像検査、記憶・知能などに関する心理検査に加え、認知症に似た症状を引き起こす身体の病気ではないことを確認する検査を行います。

早期に治療をすることによって認知症状が改善する場合があります。

正常圧水頭症、脳腫瘍、慢性硬膜下血腫…脳外科的処置を行います。

甲状腺ホルモン異常 …内科的治療を行います。

不適切な薬の使用 …薬を止める、もしくは調整をします。

名古屋市内には認知症の専門医療機関として「**認知症疾患医療センター**」（30ページ参照）があります。認知症に関する医療相談を行うほか、認知症の鑑別診断（認知症の原因となる病気を特定すること）や症状が悪化した場合の対応などを行います。

なお、専門医療機関への受診を検討する際には、まずは「**いきいき支援センター**（地域包括支援センター）」（31、32ページ参照）もしくは「**かかりつけ医**」に相談するのが良いでしょう。

認知症の治療

■ アルツハイマー型認知症

…早期ほど、薬で進行を遅らせることができます。初期から使い始めると健康な時間を長くすることも可能になります。

■ 血管性認知症

…薬や身体活動を高めるリハビリテーションなどの治療により、脳梗塞などの病気の再発を防止することが大切です。

5 認知症の予防

生活習慣を見直し、発症のリスクを減らしましょう。

■ アルツハイマー型認知症の予防

…運動や食事をはじめとする生活習慣病対策は、発症を遅らせる効果があります。

■ 血管性認知症の予防

…高血圧症、高脂血症、肥満などの対策が有効です。

また、脳の活性化を図ることも有効です。いろいろな方法がありますが、①～④を心がけ、楽しく行うことが大切です。本人が嫌がるのに無理強いをするのは、ストレスや自信喪失につながり逆効果になります。

① 快刺激で笑顔に

…心地よい刺激や笑うことで、意欲をもたらす脳内物質（ドパミン）がたくさん放出されます。

② コミュニケーションで安心

…社会との接触が失われると、認知機能の低下を促進させます。友人や家族などと楽しく過ごすことが大切です。

③ 役割・日課をもとう

…人に役に立つことを日課に取り入れることが、生活を充実させ、認知機能を高めます。

④ ほめる、ほめられる

…ほめても、ほめられてもドパミンがたくさん放出されます。脳を活性化させる学習や活動をするときは、ほめて、やる気が起きるようにすることが大切です。

軽度認知障害（MCI）とは正常と認知症の間の状態を指します。この状態のときから、上記の生活習慣を心掛けることで、現状の維持や認知機能の回復も可能なことがわかってきました。



認知症本人の言葉から

「笑うことが認知症の進行予防につながると信じています。だから、できるだけ外に出かけて人と会うようにしています。」

6 認知症の症状～中核症状と行動・心理症状～

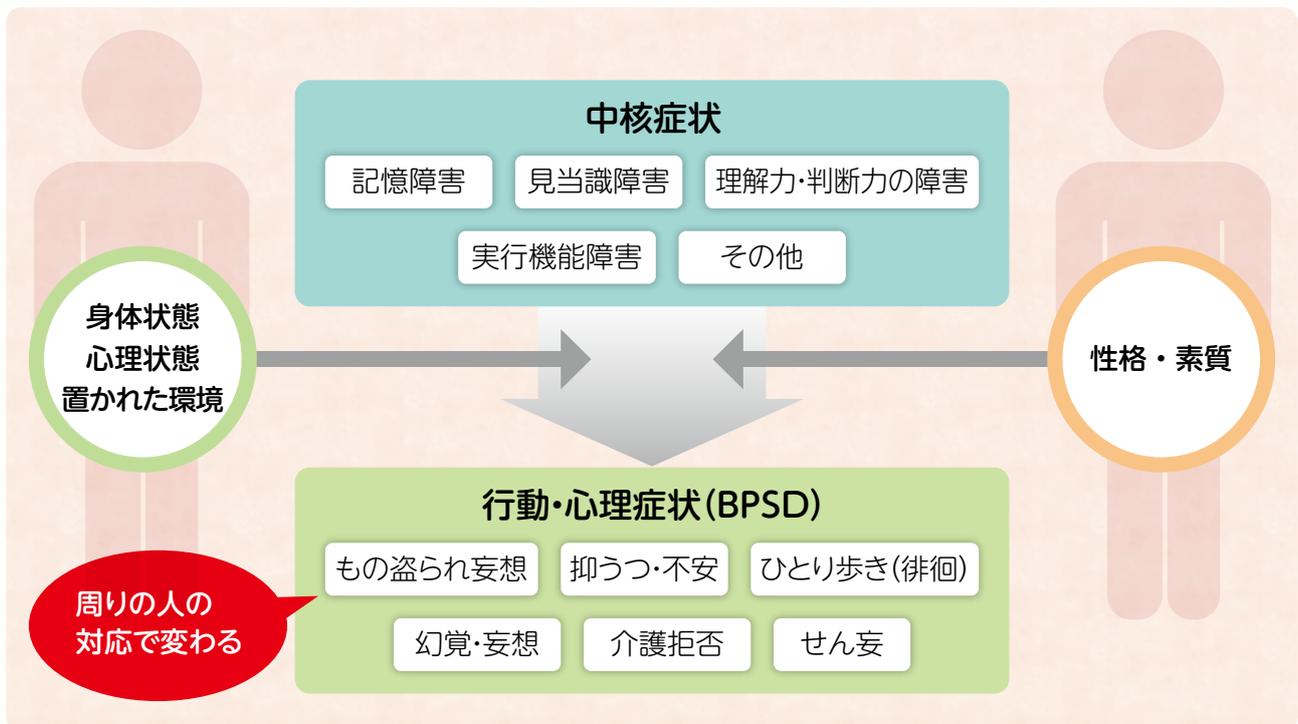
認知症の症状には「中核症状」と「行動・心理症状」があります。

中核症状とは

脳の細胞が変化することによって直接起こる症状を「中核症状」と呼びます。記憶障害、見当識障害、理解力・判断力の障害、実行機能障害などがあります。

行動・心理症状とは

対して、身体的な不調（便秘や発熱、痛みやかゆみなど）や薬の副作用、不快な環境（暑すぎる、明るすぎるなど）や周囲との関係、あるいは本人の性格など様々な要因がからみ合って、精神症状や日常生活における行動上の問題が起きる場合があります。これを「行動・心理症状」と呼びます。



認知症によって、できなくなるだけでなく、保たれていることにも目を向けます。

認知症の症状とともに、認知症の人の体験や気持ちを知ることは、本人が抱える不安や混乱、緊張の理解に役立ちます。その理解が適切な接し方につながります。

記憶障害 ～中核症状～

自分の体験した出来事や過去についての記憶が抜け落ちてしまいます。初期の段階から現れる場合もあります。

本人の体験

「もう、待ち合わせの時間を過ぎているわよ！連絡がないから心配したわ。」と友人から電話がありました。



接し方のポイントと参考事例

➔ 「さっきも言ったでしょ！」「どうして忘れるの！」など、頭ごなしに叱っては、本人の自尊心を傷つけます。

「自分が忘れてしまっても、周りの人が覚えていてくれる。」という、本人が安心できるサポートを工夫すると良いでしょう。

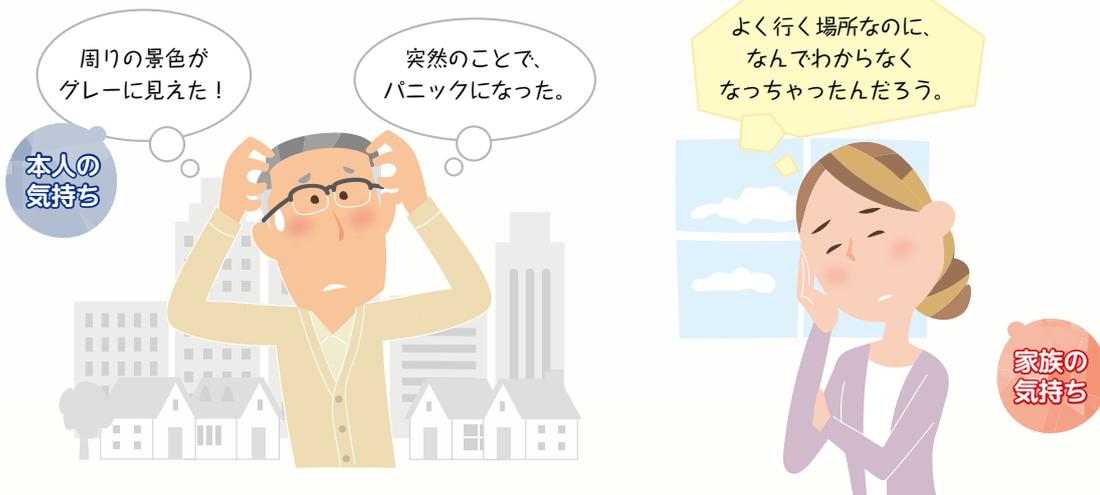


見当識障害 ～中核症状～

今の時間や場所がわからなくなります。また、症状の進行によって、時間⇒場所⇒人物の順にわからなくなります。記憶障害と並んで初期の段階から現れる場合もあります。

本人の体験

「えっ！ここはどこ？」
いつもの散歩道を歩いていたはずなのに、突然どこにいるのかわからなくなり、とても不安になりました。



接し方のポイントと参考事例

➔ 今の時間や場所がわからなくなることで、本人は混乱しています。そうしたときは、急がせないことが大切です。



理解力・判断力の障害 ～中核症状～

ものごとを理解したり、判断することに時間がかかるなど支障が出てきます。

本人の体験

買い物先でお金を払おうとした際、財布からいくら出せばいいのかわからなくなり、焦ってしまいました。

本人の
気持ち

560円？
どうやって払えば
いいのだろう？

100円玉を
何枚出せば
いいのか？

1万円札を
出せば
何とかなるかな？



お金を払うだけなのに、
どれだけかかるの？

小銭がたくさんあるのに、
1万円札を出すなんて
非常識じゃない！

店員の
気持ち



接し方のポイントと参考事例

➔ 時間をかければできることはたくさんあります。急がせないことが大切です。また、「100円玉を○枚と10円玉○枚、お願いします。」とわかりやすく伝えることも良いでしょう。

いつも行く
スーパーでは、
店員さんが一緒に
お金を教えてくれます。
安心して
買い物にいきます。



実行機能障害 ～中核症状～

計画を立てたり、段取りをすることに支障が出てきます。

本人の体験

「今日も卵焼きだけか！」と夫に叱られショックでした。



接し方のポイントと参考事例

- ➔ 同時にふたつの作業を行うなどの複雑なことは難しくなります。しかし、段取りができなくても、一つひとつの作業は問題なくできることが多いです。例えば、「次は野菜を切っておいてね」と声かけをしてくれる人がいれば、食事の準備をすることができます。



もの盗られ妄想 ～行動・心理症状～

家族の体験

認知症の夫に「おまえが俺の財布を盗んだだろう。」と問い詰められ、つらい思いをしました。



記憶障害のため、いつもと違う場所に財布や通帳を仕舞ったこと自体を忘れてしまうことが理由のひとつです。

接し方のポイントと参考事例

- ➔ 否定をしたり説得したりせず、本人が見つけれられるよう一緒に探します。しかし、訴えが繰り返されるようなら、深入りせず、いきいき支援センター（地域包括支援センター）に相談しましょう。



抑うつ・不安 ～行動・心理症状～

家族の体験

あれほど好きだったカラオケに誘われても行かないし、すっかり元気がなくなってしまって心配です。

本人の
気持ち

最近何をしても、やる気が全く起きない…

それじゃダメだと、頭ではわかっているけど…外に出て失敗するのが怖い…

ずっと家に閉じこもりがち。誘っても生返事ばかり。どうしたらいいかしら。

家族の
気持ち

できていたことができなくなることで、自信を失います。また、すべてのことが面倒に思えるのです。

接し方のポイントと参考事例

➔ それとなく手助けをして“成功体験”を積み重ねます。その一つひとつが自信を取り戻す手がかりとなります。

友人が何度も誘ってくれて、少しずつ出掛けるようになりました。振り返ってみると、カラオケの約束時間を間違えてから、急に落ち込んだように思います。今は友人のサポートもあり、笑顔が増えてきました。



ひとり歩き（徘徊） ～行動・心理症状～

家族の体験

ひとりでスーパーに出かけます。帰り道がわからなくなり、帰宅時間が遅くなることも増えてきました。いつか事故に遭わないかと、とても心配です。



見当識障害のため、自分がどこにいるのかがわからなくなったことが理由のひとつです。

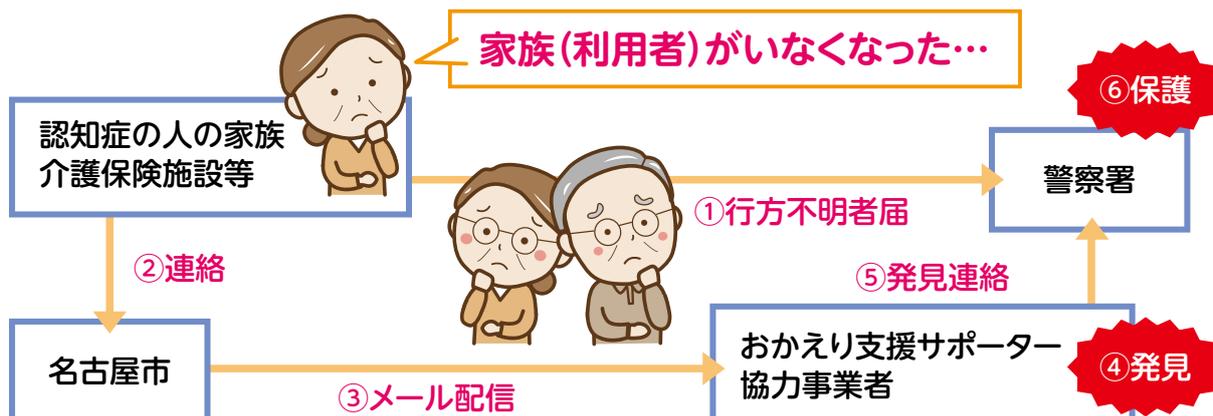
接し方のポイントと参考事例

- ➔ 無理やり外出を止めることは逆効果です。まずは、なぜ外出をするのかの原因を知ることから始めます。すると、その人なりの理由が見つかるはずで、そこで、行き先を想定し、あらかじめご近所の方に声かけなどの協力を得ておくこともできます。また、名古屋市では「はいかい高齢者おかえり支援事業」を行っています。(18ページ参照)

一見すると不可解な行動に思えても、認知症の人にとっては本人なりの理由があります。一つひとつの言動に対して反応するのではなく、本人の意思を尊重し、自尊心を傷つけない関わり方が大切です。

はいかい高齢者おかえり支援事業とは

認知症の人のひとり歩きによる事故を防止するため、地域の皆さんの協力を得て、行方不明になっている方を早期に発見する取り組みです。利用には事前登録が必要です（名古屋市内在住者のみ登録可）。受付窓口は登録希望者の居住地を担当するいきいき支援センター（地域包括支援センター）です。



あなたも「おかえり支援サポーター」になりませんか？

おかえり支援サポーターとは、この事業に協力いただく方のことです（名古屋市内在住者も可）。メールアドレスを登録していただき、搜索協力依頼のメールを受けとった場合に、可能な範囲で搜索のための情報提供にご協力いただきます。認知症の人の事故や行方不明は、家族や介護者だけで防ぐことはできません。認知症の人が安心して安全に外に出かけられるよう、地域全体で見守ることが求められています。

【おかえり支援サポーターの登録】

- 登録費用…無料（ただし、メール送受信や登録用ホームページへのアクセスに要する通信費等は登録者負担）
- 登録方法…右記のコードを読み取り、アクセスしたページから空メールを送信するか、下記のメールアドレスに空メールを送信してください。

メールアドレス okaeri@sg-m.jp



コード

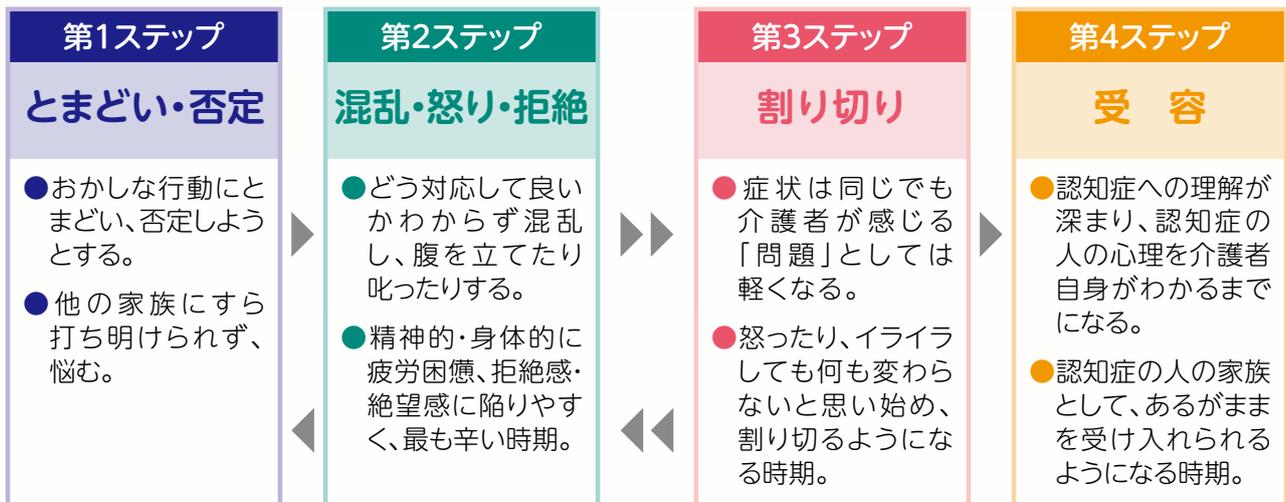
認知症の人から「家がわからない」と助けを求められる場合があります。その時は、落ち着いてやさしく対応し、近くの警察に通報しましょう。一般の方からの通報により、家族の元に無事帰宅できた事例が多くあります。

7 介護をしている家族の気持ち

認知症の人を介護している家族の気持ちを理解することは、認知症の人の安心した生活につながります。



家族のたどる心理ステップ



家族が身体的にも精神的にも最も大変な時期は、今の状況に納得できないまま、認知症の症状に振り回される第1、第2ステップの頃です。

介護をしている家族の不安やとまどいは、認知症の人の不安につながります。まずは、家族が気持ちにゆとりを持てるよう、自分自身を大切にすることです。

そして、介護の経過とともに、第1から第3ステップまでの間を、行ったり来たりを繰り返しながら、少しずつ受容に近づいていきます。

介護マーク、ヘルプマークをご存知ですか？



介護マーク

介護マークとは

介護する方が介護中であることを周囲に理解してもらうために作成されたマークです。例えば、駅やサービスエリアなどのトイレで付き添うときや男性介護者が女性用下着を購入するときなどに活用します。

配布場所は、区役所福祉課、支所区民福祉課、いきいき支援センター（地域包括支援センター）などです。

みなさんは「ピアサポート」という言葉を聞いたことがありますか。同じ体験をもった人たちが、お互いにささえ合うことです。介護する家族にとって、家族同士の交流はとても有意義な機会です。

介護は自分の苦しい心とのたたかいですが、「私だけではなかった。同じように苦勞をしている人がいる。」と知ることによって、気持ちが楽になります。また、ストレスになっている気持ちをほきだし、お互いに受けとめ合うことにより、行き詰まった気持ちが和らぎます。

名古屋市では、各いきいき支援センター（地域包括支援センター）において、「家族教室」「家族サロン」を開催し、認知症に関する講義や介護の悩みや不安などを話し合う交流会を行っています。

また、認知症の人と家族の会愛知県支部（30ページ参照）では、「家族支援プログラム」や「家族交流会」などを開催しています。



ヘルプマーク

ヘルプマークとは

援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方々が、周りの方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作成されたマークです。

配布場所は、区役所福祉課、支所区民福祉課、障害者基幹相談支援センターなどです。

8 認知症の人と接するときの心がまえ

認知症の人への対応 ガイドライン

基本姿勢

認知症の人への対応の心得“3つの「ない」”

①驚かせない

②急がせない

③自尊心を傷つけない

認知症の人への対応には、認知症に伴う認知機能低下があることを正しく理解していることが必要です。そして、偏見をもたず、認知症は自分たちの問題であるという認識をもち、認知症の人を支援するという姿勢が重要になります。

認知症の人だからといってつきあいを基本的に変える必要はありませんが、認知症の人には、認知症への正しい理解に基づく対応が必要になります。

記憶力や判断能力の衰えから、社会的ルールに反する行為などのトラブルが生じた場合には、家族と連絡をとり、相手の尊厳を守りながら、事情を把握して冷静な対応策を探ります。

ふだんから住民同士が挨拶や声かけにつとめることも大切です。日常的にさりげない言葉がけを心がけることは、いざというときの的確な対応に役立つでしょう。

具体的な対応の7つのポイント

👉 まずは見守る

認知症と思われる人に気づいたら、本人やほかの人に気づかれないように、一定の距離を保ち、さりげなく様子を見守ります。近づきすぎたり、ジロジロ見たりするのは禁物です。

👉 余裕をもって対応する

こちらが困惑や焦りを感じていると、相手にも伝わって動揺させてしまいます。自然な笑顔で応じましょう。

👉 声をかけるときは1人で

複数で取り囲むと恐怖心をあおりやすいので、できるだけ1人で声をかけます。

👉 後ろから声をかけない

一定の距離で相手の視野に入ったところで声をかけます。唐突な声かけは禁物。「何かお困りですか」「お手伝いしましょうか」「どうなさいました?」「こちらでゆっくりどうぞ」など。

👉 相手に目線を合せてやさしい口調で

小柄な方の場合は、体を低くして目線を同じ高さにして対応します。

👉 おだやかに、はっきりした話し方で

高齢者は耳が聞こえにくい人が多いので、ゆっくり、はっきりと話すように心がけます。早口、大声、甲高い声でまくしたてないこと。その土地の方言でコミュニケーションをとることも大切です。

👉 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

認知症の人は急かされるのが苦手です。同時に複数の問いに答えることも苦手です。相手の反応を伺いながら会話をしましょう。たとえゆっくりでも、相手の言葉をゆっくり聴き、何をしたいのかを相手の言葉を使って推測・確認していきます。

「認知症の人は、突然大声を出したり暴言を吐くので、怖い！」という声を聞くことがあります。

例えば、後ろから突然話しかけられたら、誰でも驚きますよね。

例えば、「早くしてよ！」と急ぎ立てられたら、誰でも焦ってしまいますよね。

例えば、「こんなこともできないの。しっかりしてよ！」と言われたら、誰でも傷つき、腹が立ちますよね。

認知症 “だから” 怒るのではありません。原因は必ずあります。3つの「ない」を振り返り、認知症の人の気持ちに寄り添うことが大切です。

認知症本人の言葉から

- 58歳の時に認知症と診断された。「それがどうした」と言ってくれた人達がいた。
- 周囲の理解と支えがあれば、認知症になっても、できることはたくさんある。ギターや卓球、山登りも、認知症になってから始めた。



■認知症の人と接するとき、あなたが大切にしたいと思うことを書き出してみましょう！

認知症になっても前向きに生きている人の周りには、信頼できる人と安心できる環境があります。



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

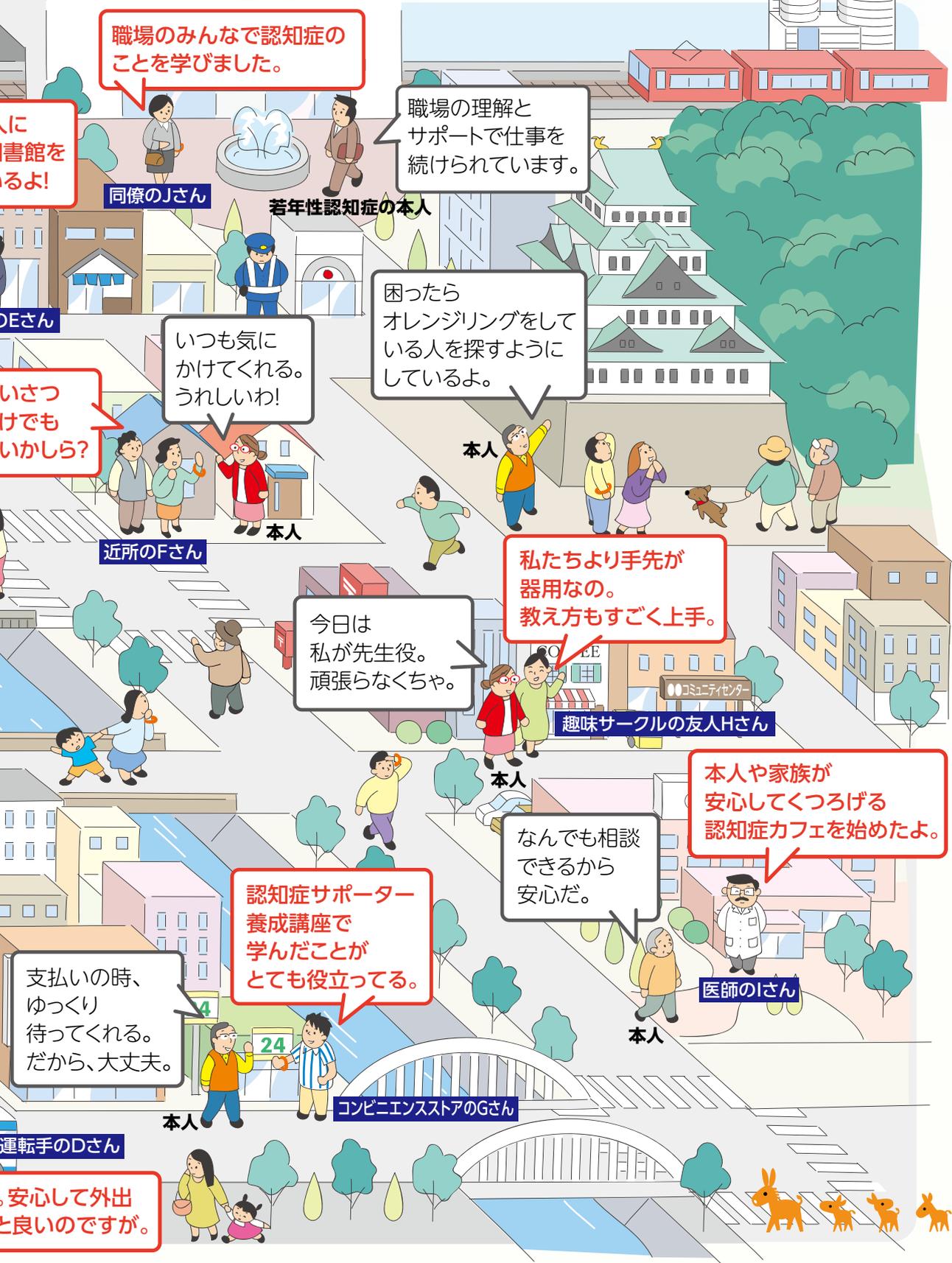
Ⅲ 「認知症の人にやさしいまちづくり」 ～認知症サポーターにできること～

1

「認知症になっても安心して暮らせるまち なごや」を目指して



年をとれば、足腰が弱くなったり、しわが増えたりします。自然の成り行きです。認知症も同じです。誰にも起こる可能性があります。様々な立場や年代の人たちが力を活かし、「認知症になっても安心して暮らせる なごや」を実現しましょう。



職場のみんなが認知症のことを学びました。

職場の理解とサポートで仕事を続けられています。

いつも気にかけてくれる。うれしいわ!

困ったらオレンジリングをしている人を探そうにしているよ。

私たちより手先が器用なの。教え方もすごく上手。

今日は私が先生役。頑張らなくちゃ。

本人や家族が安心してくつろげる認知症カフェを始めたよ。

認知症サポーター養成講座で学んだことがとても役立つ。

なんでも相談できるから安心だ。

支払いの時、ゆっくり待ってくれる。だから、大丈夫。

安心して外出と良いのですが。

身近なところで認知症の人を支えています

認知症の人にさりげなく声をかけ、見守るなど、特別なことではありませんが、認知症の人を支えることができます。

- ご近所の認知症の人が、帰り道が分からない様子だったので、プライドを傷つけないように、「〇〇さん、どうされたの?」とゆっくり話しかけ、話を聞きながら一緒に歩きました。しばらくしてその人の家の近くまで歩いてくると、とても安心した表情になりました。
- 見知らぬ人が、サンダルを両手に持って裸足で歩いていたので、「サンダルを履きませんか?」とゆっくり話しかけました。自宅を尋ねても返事が無いので、「どうしたらいいのかな」と思っていたら、この人を捜していたご家族が運よくその場に来られ一緒に帰宅されました。ご家族からは何度もお礼を言われました。



「港区町づくり隊」に登録し、地域住民としてできることをしています

「港区町づくり隊」は、認知症サポーター養成講座やサポーターフォローアップ講座を受講した人たちが、「認知症になっても安心して暮らせる町をつくりたい!」という思いのもと、港区のいきいき支援センターにメンバー登録し、様々な活動をしています。

具体的には、おかえり支援サポーター、認知症カフェへの運営協力、認知症ケアパスのガイドなどを行っています。定期的なサロンでメンバー同士が交流し、今後の活動のあり方も一緒に検討しています。

認知症カフェのボランティアをしているわ。

港区町づくり隊としてどんな活動ができるかな?

身近な人に認知症ケアパスの紹介をしたらどうかしら?



認知症になっても利用し続けてもらえる美容室でいられるように
講座で学んだことを活かしています。

理美容室で働く多くの方が、名古屋市在宅高齢者訪問理美容サービス事業に登録することをきっかけに認知症サポーター養成講座を受講しています。

南区のいきいき支援センターでは、訪問等ができる「理容室&美容室一覧」を作成しています。こうしたお店ではお付き合いが長い高齢のお客様も多く、そのちょっとした変化にも気づくことが多いようです。その際に、さりげないサポートを続けています。

私たち美容師は、お客様と長くお付き合いしているので、“以前と違うかな”と気づくことがあります。そうした時、予約の日を前もって連絡したり、支払いのお金を一緒に確認したりしています。認知症になっても安心して利用し続けてもらいたいですね。



「認知症の人(方)に(も)やさしい店」に登録し、
認知症を正しく理解して対応しています

認知症サポーター養成講座を受講することをひとつの要件（必須の区もあり）として、市内のいくつかの区で登録店を募集しています。登録しているのは主に銀行、郵便局、スーパー、薬局、新聞店、喫茶店、葬祭会社などで、見守りをしつつ「やさしく、ゆっくり、ていねい」な対応を心がけています。これらの取り組みは、認知症に理解あるお店を増やすだけでなく、その対応を目にしたお客様にも理解を広げていくことが期待できます。



1つの用紙を書く間に何度も同じ質問をされる方がいます。お客様自身も混乱しているかもしれません。まずは落ち着いていただけるような対応を心がけています。



小学生も受講を通して理解を深め、認知症サポーターになっています

学校の授業、学童クラブ、児童館、子ども会など様々な場で、小学生が認知症サポーター養成講座を受講しています。認知症の人に優しく接していきたいとの感想が多く、また認知症の人を特別扱いせず受け入れ、身近なこととじてくれたようです。

- 認知症の人にどのような症状が出るのか分かった。
- そのような人がいたら、驚かせないように優しく話しかける。
- 認知症の人はそっとしておいた方がいいのかと思っていたけど声をかけることもその人の安心感につながる事が分かった。
- 物を忘れてしまったり、できないことがあることを踏まえて、特別な人でないけど優しく接すればいいと分かった。



様々な学生たちが講座を受講し、認識を新たにしています

医療や福祉系大学の授業や大学のボランティア活動等で、認知症サポーター養成講座が受講されています。若い世代にも認知症のことを知ってもらうことで、認知症の人が住みやすい地域になっていくことが期待できます。

- 認知症についてほとんど知らなかったが、脳の病気として認識できた。
- 小銭があるのにお札で払う人の気持ちや今まで理解できなかったが、これからは助けようと思う。
- 認知症の人と接して、自信を持ってもらったり、安心して生活してもらえ活動に魅力を感じた。
- 認知症の方にも本人の考えがあることを知れた。
- 認知症に対する理解を多くの人々が持つことができれば、家族や本人が隠さずに生きていける、とても生きやすい世の中になると思った。



啓発活動の他、認知症の人や家族が利用しやすい図書館づくりをしています

高齢の方も増え、見守りが必要な方が図書館を利用されるので、きちんと対応できるようにと名古屋市の図書館職員の多くが認知症サポーター養成講座を受講しており、各図書館で以下のような様々な取り組みをしています。

認知症資料の常設コーナーを設置する他、専門機関・団体との共同企画でアルツハイマー月間（9月）に合わせた企画や「当事者メッセージ」などテーマに沿った啓発展示、ブックリストの作成、認知症に関する夏休みの自由研究の応援などを行っています。

いきいき支援センターの家族教室や家族サロン、認知症カフェに参加する介護家族に対しては、認知症に関する本の他、気分転換できるような本を紹介し、「自分の時間も大切にしてください」といったメッセージも添えています。



本の借り方・返し方が分からない場合の丁寧な対応など認知症の当事者本人がいつ来館してもいいように、また居心地よく過ごしていただけるように努めています。

交通局職員として、市バス・地下鉄を利用する認知症の人に必要な支援をしています

名古屋市交通局で新規採用された職員は、認知症の人が市バス・地下鉄をご利用の際、適切な対応ができるように、認知症サポーター養成講座を受講しています。お客様と直接ふれあう仕事なので、受講者は真剣に取り組んでおり、市バスや地下鉄で認知症と思われる人が乗車された際には、積極的な声かけや乗降のお手伝いなどを行っています。

- 料金やきっぷの買い方でお困りの時には、購入完了まで操作方法などをひとつひとつ説明しながら、より分かりやすく丁寧に対応するようにしています。
- お客様の会話や仕草などから、ひとり歩きされていると見受けられる人には、関係機関に連絡するなど、無事に帰宅できるよう保護にも努めています。
- 業務以外の時でも、認知症と思われる人を見かけた際には、積極的にお声かけするようにしています。



2 認知症に関する相談先と認知症関連事業の紹介

認知症の進行に合わせた適切な支援を受けるために、まずはいきいき支援センター（地域包括支援センター）に相談してみましょう。

いきいき支援センター（地域包括支援センター）とは

名古屋市が設置する高齢者に関するなんでも相談窓口です。
保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員が相談に応じます。

開設時間

月～金曜日（祝休日、年末年始除く）
午前9時～午後5時

相談
無料

いきいき支援センターの役割

- 認知症に関する相談をはじめ、健康・福祉・介護などあらゆる相談に応じます。
- 医療・介護の専門職と専門医で構成された**認知症初期集中支援チーム**が自宅訪問等を行い、自立生活のサポートをします。
- **認知症地域支援推進員**を中心として、地域の方や認知症サポーターのみなさん、医療や介護の専門職など、さまざまな方と連携・協力をしながら、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。
 - なごや認知症カフェの開設・運営支援
…認知症の人やその家族など、誰もが安心して過ごせる居場所づくり
 - 認知症サポーターのフォローアップ
…認知症サポーター向けの研修の開催
…認知症サポーターの活動支援
 - 認知症の進行に応じて適切なケアが受けられる仕組みづくり
- **見守り支援員**が孤立しがちな高齢者への支援や見守り電話による安否確認を行います。
- 家族支援事業として、認知症のことを学ぶ「家族教室」、介護者同士が交流する「家族サロン」、「もの忘れ相談医による専門相談」を開催します。
- 高齢者の権利を守るため、高齢者虐待や権利擁護、消費者被害の相談などに応じます。



相談機関

- 区役所 …………… 介護保険制度、社会保障制度に関する相談など
- 保健センター …………… 認知症普及啓発推進事業、介護予防に関する相談など
- 福祉会館 …………… 認知症予防事業など
- 社会福祉協議会 …………… 地域福祉、ボランティアに関する相談など
- 名古屋市成年後見あんしんセンター … 成年後見制度に関する相談など
(☎856-3939)
- 名古屋市障害者・高齢者権利擁護センター … 権利擁護や財産管理に関する相談など
(北部事務所 ☎919-7584) (担当地域) 東区・北区・西区・守山区
(南部事務所 ☎678-3030) (担当地域) 中村区・中区・熱田区・中川区・港区
(東部事務所 ☎803-6100) (担当地域) 千種区・昭和区・瑞穂区・南区・緑区・名東区・天白区
- 名古屋市高齢者虐待相談センター… 高齢者の虐待に関する相談など
(☎856-9001) (休日・夜間電話相談窓口は☎701-3344)
- はち丸在宅支援センター … 在宅療養に関する相談など
- 名古屋市認知症相談支援センター… 認知症支援体制、若年性認知症相談支援など
(☎734-7079)

電話相談

- 名古屋市認知症コールセンター (☎734-7089)
(月水木金:10時～16時 火:14時～20時) (祝日・年末年始を除く)
- 愛知県認知症電話相談 (☎0562-31-1911)
(月～金:10時～16時) (祝日・年末年始を除く)
- 若年性認知症コールセンター (☎0800-100-2707)
(月～土:10時～15時) (祝日・年末年始を除く)

家族支援

- なごや認知症カフェ
…認知症の本人、家族、地域住民や専門職など誰もが気軽に集う場です。
NAGOYAかいごネットからお近くの認知症カフェを検索できます。
- 認知症の人と家族の会 愛知県支部 … 家族の勉強会や交流会などを行っています。
(☎0562-33-7048)

ウェブサイト

- NAGOYAかいごネット … 名古屋市が運営し、介護の最新情報を提供します。
<https://www.kaigo-wel.city.nagoya.jp/view/kaigo/top/>
- なごや認知症あんしんナビ … 名古屋市認知症相談支援センターが運営し、認知症のイベント情報や若年性認知症への支援などの情報を提供します。
<http://n-renkei.jp/>

認知症疾患医療センター

- 名鉄病院 (☎551-2802)
- まつかけシニアホスピタル (☎352-4165)
- もりやま総合心療病院 (☎795-3560)
- 八事病院 (☎832-2181)



いきいき支援センター（地域包括支援センター）一覧

区	名称	所在地	電話番号 (FAX番号)	担当地域（小学校区名）
千種	千種区東部 いきいき支援センター	千種区桜が丘11-1 ソフィアビル1階	781-8343 (781-8346)	上野、自由ヶ丘、大和、 千代田橋、東山、富士見台、 星ヶ丘、宮根
	分室	千種区宮根台一丁目4-24 山内ビル1階	726-8944 (726-8966)	
	千種区西部 いきいき支援センター	千種区西崎町2丁目4-1 千種区在宅サービスセンター内	763-1530 (763-1547)	内山、千石、高見、田代、千種、 春岡、見付
東	東区 いきいき支援センター	東区泉二丁目28-5 東区在宅サービスセンター内	932-8236 (932-9311)	区内全域
	分室	東区矢田四丁目5-11 レジデンスアロー1階	711-6333 (711-6313)	
北	北区東部 いきいき支援センター	北区平安二丁目1-10 第5水光ビル2階	991-5432 (991-3501)	飯田、城北、杉村、辻、東志賀、 宮前、名北、六郷、六郷北
	北区西部 いきいき支援センター	北区清水四丁目17-1 北区在宅サービスセンター内	915-7545 (915-2641)	味鋤、大杉、川中、金城、楠、 楠西、光城、清水、西味鋤、 如意
	分室	北区中味鋤三丁目414	902-7232 (902-7233)	
西	西区北部 いきいき支援センター	西区市場木町157 パークサイドなかしま1階	505-8343 (505-8345)	浮野、大野木、中小田井、比良、 平田、比良西、山田
	西区南部 いきいき支援センター	西区花の木二丁目18-1 西区在宅サービスセンター内	532-9079 (532-9020)	稲生、榎、上名古屋、児玉、 栄生、城西、庄内、なごや、 枇杷島、南押切
	分室	西区菊井二丁目2-3 アーバネス菊井ビル2階	562-5775 (562-5776)	
中村	中村区北部 いきいき支援センター	中村区名染町4丁目7-18 中村区在宅サービスセンター内	486-2133 (486-2140)	稲西、稲葉地、諏訪、豊臣、中村、 日比津、ほのか
	分室	中村区稲葉地本通1丁目3 魚住稲葉地ビル西号室	412-3030 (412-3110)	
	中村区南部 いきいき支援センター	中村区豊国通1丁目14	483-6866 (483-6867)	岩塚、米野、笹島、千成、八社、 日吉、牧野、柳
中	中区 いきいき支援センター	中区上前津二丁目12-23 中区在宅サービスセンター内	331-9674 (331-9953)	区内全域
	分室	中区栄四丁目1-8 中区役所地下2階	262-2265 (262-2275)	
昭和	昭和区東部 いきいき支援センター	昭和区滝川町33 いりなカスクエア3階	861-9335 (861-9336)	伊勝、川原、滝川、広路、 八事
	昭和区西部 いきいき支援センター	昭和区御器所三丁目18-1 昭和区在宅サービスセンター内	884-5513 (883-2231)	御器所、松栄、白金、鶴舞、吹上、 村雲
	分室	昭和区阿由知通4丁目7 グローバル御器所2C	852-3355 (852-3344)	
瑞穂	瑞穂区東部 いきいき支援センター	瑞穂区佐渡町3丁目18 瑞穂区在宅サービスセンター内	858-4008 (842-8122)	汐路、豊岡、中根、弥富、 陽明
	分室	瑞穂区洲山町二丁目21 啓徳名古屋南ビル1階	851-0400 (851-0410)	
	瑞穂区西部 いきいき支援センター	瑞穂区堀田通1丁目18 シティアーク1階	872-1705 (872-1707)	井戸田、高田、穂波、堀田、瑞穂、 御劔
熱田	熱田区 いきいき支援センター	熱田区神宮三丁目1-15 熱田区在宅サービスセンター内	671-3195 (671-1155)	区内全域
	分室	熱田区大宝三丁目6-26 シャンボール日比野1階	682-2522 (682-2505)	



区	名称	所在地	電話番号 (FAX番号)	担当地域 (小学校区名)
中川	中川区東部 いきいき支援センター	中川区八幡本通2丁目27 コーポ中野1階	354-8343 (354-8341)	愛知、篠原、昭和橋、玉川、露橋、 常磐、中島、西中島、広見、八熊、 八幡
	中川区西部 いきいき支援センター	中川区小城町一丁目1-20 中川区在宅サービスセンター内	352-8258 (353-5879)	赤星、荒子、五反田、正色、 千音寺、戸田、豊治、長須賀、 西前田、野田、春田、万場、 明正
	分室	中川区春田四丁目119 プリマヴェーラ1階	364-7273 (364-7271)	
港	港区東部 いきいき支援センター	港区港栄二丁目6-32 港区在宅サービスセンター内	651-0568 (651-1167)	稲永、大手、港栄、成章、東海、 中川、西築地、野跡、東築地
	港区西部 いきいき支援センター	港区寛政町6丁目40	381-3260 (381-3261)	小碓、港西、正保、神宮寺、高木、 当知、南陽、西福田、福田、福春、 明德
	分室	港区知多二丁目2215 レープエル1階	309-7411 (309-7412)	
南	南区北部 いきいき支援センター	南区桜台一丁目1-25 桜ビル1階	811-9377 (811-9387)	大磯、春日野、菊住、桜、伝馬、 道徳、豊田、明治、呼統
	分室	南区道徳通三丁目46	698-7370 (698-7380)	
	南区南部 いきいき支援センター	南区前浜通3丁目10 南区在宅サービスセンター内	819-5050 (819-1123)	笠寺、柴田、大生、宝、千鳥、 白水、宝南、星崎、笠東
守山	守山区東部 いきいき支援センター	守山区小幡南一丁目24-10 守山区在宅サービスセンター内	758-2013 (758-2015)	天子田、大森、大森北、小幡、 上志段味、吉根、志段味西、 志段味東、下志段味、苗代、 本地丘、森孝西、森孝東
	分室	守山区吉根南1401	736-0080 (736-0081)	
	守山区西部 いきいき支援センター	守山区瀬古東二丁目411	758-5560 (758-5582)	小幡北、白沢、瀬古、鳥羽見、 西城、甘軒家、二城、守山
緑	緑区北部 いきいき支援センター	緑区鳴子町一丁目7-1 緑区在宅サービスセンター内	899-2002 (891-7640)	旭出、浦里、大清水、片平、 神の倉、熊の前、黒石、小坂、 常安、滝ノ水、戸笠、徳重、 長根台、鳴子、鳴海東部、桃山
	分室	緑区徳重五丁目625 アーバニティ幸1階	877-9001 (877-8841)	
	緑区南部 いきいき支援センター	緑区左京山3038	624-8343 (624-8361)	相原、有松、大高、大高北、 大高南、桶狭間、太子、鳴海、 南陵、東丘、平子、緑
名東	名東区北部 いきいき支援センター	名東区上社一丁目802 名東区在宅サービスセンター内	726-8777 (726-8776)	猪高、猪子石、香流、北一社、 引山、藤が丘、平和が丘、本郷、 豊が丘、蓬来
	分室	名東区明が丘124-2 ami ami annex2階	771-7785 (771-7702)	
	名東区南部 いきいき支援センター	名東区にじが丘2丁目7 アーバンラフレ虹ヶ丘西2号棟	720-6121 (720-5400)	梅森坂、上社、貴船、極楽、高針、 西山、前山、牧の原、名東
天白	天白区東部 いきいき支援センター	天白区原一丁目301 天白区在宅サービスセンター内	809-5555 (385-8451)	相生、植田、植田北、植田東、 植田南、しまだ、高坂、原、平針、 平針北、平針南
	分室	天白区原五丁目1303 三和シャトー1階	808-5400 (808-5322)	
	天白区西部 いきいき支援センター	天白区大坪二丁目604	839-3663 (839-3665)	大坪、表山、天白、野並、八事東、 山根



■区役所

名称		電話番号	FAX 番号	名称		電話番号	FAX 番号
千種 区役所	福祉課	753-1838	751-3120	守山 区役所	福祉課	796-4603	793-1451
	保険年金課	753-1907	753-1912		保険年金課	796-4546	796-4630
東 区役所	福祉課	934-1195	936-4303	緑 区役所	福祉課	625-3957	621-6841
	保険年金課	934-1142	934-1147		保険年金課	625-3944	625-3983
北 区役所	福祉課	917-6531	914-2100	名東 区役所	福祉課	778-3009	774-2781
	保険年金課	917-6456	917-6461		保険年金課	778-3053	778-3059
西 区役所	福祉課	523-4598	521-0067	天白 区役所	福祉課	807-3887	802-9726
	保険年金課	523-4541	523-4559		保険年金課	807-3843	807-3807
中村 区役所	福祉課	453-5415	453-8232				
	保険年金課	453-5348	453-5370				
中 区役所	福祉課	265-2324	241-6986	■支所			
	保険年金課	265-2243	265-2249				
				支所区民福祉課		電話番号	FAX 番号
昭和 区役所	福祉課	735-3911	731-8900	楠 支所	福祉係	901-2269	902-1843
	保険年金課	735-3844	735-3922		保険係	901-2262	902-7291
瑞穂 区役所	福祉課	852-9396	851-1350	山田 支所	福祉係	501-4975	504-7409
	保険年金課	852-9333	852-9339		保険係	501-4935	504-7409
熟田 区役所	福祉課	683-9404	682-0346	富田 支所	福祉係	301-8376	301-8661
	保険年金課	683-9485	683-9489		保険係	301-8143	302-7516
中川 区役所	福祉課	363-4415	352-7824	南陽 支所	福祉係	301-8345	301-8411
	保険年金課	363-4346	363-4351		保険係	301-8154	301-8399
港 区役所	福祉課	654-9691	651-1190	志段味 支所	福祉係	736-2192	736-4670
	保険年金課	654-9646	654-9629		保険係	736-2257	736-9885
南 区役所	福祉課	823-9411	811-6366	徳重 支所	福祉係	875-2207	875-2215
	保険年金課	823-9343	823-9348		保険係	875-2206	875-2215

■保健センター

名 称	電話番号	FAX 番号	名 称	電話番号	FAX 番号
千種保健センター	753-1951	751-3545	守山保健センター	796-4610	796-0040
東 保健センター	934-1205	937-5145	緑 保健センター	891-1411	891-5110
北 保健センター	917-6541	911-2343	名東保健センター	778-3104	773-6212
西 保健センター	523-4601	531-2000	天白保健センター	807-3900	803-1251
中村保健センター	481-2216	481-2210	■分室		
中 保健センター	265-2250	265-2259	名 称	電話番号	FAX 番号
昭和保健センター	735-3950	731-0957	楠 分室	902-6501	902-6502
瑞穂保健センター	837-3241	837-3291	山田 分室	504-2216	504-2217
熱田保健センター	683-9670	681-5169	富田 分室	303-5321	303-5438
中川保健センター	363-4455	361-2175	南陽 分室	302-8161	301-4674
港 保健センター	651-6471	651-5144	志段味分室	736-2023	736-2024
南 保健センター	614-2811	614-2818	徳重 分室	878-2227	878-3373

■福祉会館

区名	名 称	電話番号	FAX 番号	区名	名 称	電話番号	FAX 番号
千種	都 福祉会館	711-1483	711-9657	熱田	熱田 福祉会館	659-6306	651-7251
東	高岳 福祉会館	931-8174	935-1025	中川	中川 福祉会館	351-9121	352-9406
北	上飯田福祉会館	914-0831	912-1308	港	港 福祉会館	382-7009	381-2285
西	天神山福祉会館	531-0023	521-3369	南	笠寺 福祉会館	811-1282	822-1121
中村	名楽 福祉会館	481-8588	461-5667	守山	守山 福祉会館	793-6330	792-6094
中	前津 福祉会館	262-1869	242-5761	緑	緑 福祉会館	624-3131	624-4485
昭和	八事 福祉会館	832-2779	834-4611	名東	名東 福祉会館	703-9282	704-8144
瑞穂	瑞穂 福祉会館	841-3113	841-1348	天白	天白 福祉会館	802-2351	806-3327

■はち丸在宅支援センター

名 称	電話番号	FAX 番号	名 称	電話番号	FAX 番号
千種区はち丸在宅支援センター	732-0874	732-0875	熱田区はち丸在宅支援センター	683-0874	683-0881
東区はち丸在宅支援センター	933-0874	937-8741	中川区はち丸在宅支援センター	354-0874	354-0875
北区はち丸在宅支援センター	982-0874	982-0875	港区はち丸在宅支援センター	652-0874	652-0878
西区はち丸在宅支援センター	561-0874	561-0875	南区はち丸在宅支援センター	823-0874	823-0876
中村区はち丸在宅支援センター	481-0874	481-0876	守山区はち丸在宅支援センター	795-0874	795-0881
中区はち丸在宅支援センター	201-0874	201-0877	緑区はち丸在宅支援センター	896-0874	896-0876
昭和区はち丸在宅支援センター	763-0874	763-0875	名東区はち丸在宅支援センター	760-0874	760-0875
瑞穂区はち丸在宅支援センター	852-0874	852-0875	天白区はち丸在宅支援センター	800-0874	800-0875



認知症サポーター養成講座標準テキスト (名古屋市版)

事業 名古屋市認知症の人を介護する家族支援事業
参考文献 認知症・アルツハイマー病がよくわかる本
遠藤英俊(国立長寿医療センター 包括診療部長)編者
認知症診療の進め方 -その基本と実践-
長谷川和夫 編著
ケアマネ応援!!自信がつく家族支援
認知症の人と家族の会愛知県支部 ケアラーマネジメント勉強会 著
みんなの認知症サポート 認知症にやさしいまちづくり
永田久美子(認知症介護研究・研修東京センター研究部 部長)監修
認知症サポーター養成講座標準教材 認知症を学び地域で支えよう
全国キャラバン・メイト連絡協議会 編集

編集 社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会
発行 名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課
印刷者 タック株式会社
発行年月 令和4年4月

